



教育目標「希望に燃えて
心やさしく、人を大切にする子
自分を表現し、相手を大切にする子

伸びゆかん」
自分の考えをもち、共に学び合う子
ふるさとを愛し、誇りに思う子

〒625-0133 舞鶴市字平 1583 番地
TEL (0773)-68-0002
FAX (0773)-68-0007
HP <https://oura-maizuru.edumap.jp/>

体験から気付く、やってみて気付く ～ 修学旅行・田植え ～

山椒の実が生い茂る時期となりました。1年に1度の収穫は毎年の恒例で、今年もさわやかな香りに包まれながらたくさんの山椒の実を収穫しました。給食室前の廊下には、自然物などを見たり手に取ったりして五感を養う「わくわく五感ランド」のコーナーがあります。今年度のスタートは山椒の実を展示し、多くの児童が五感を使って気付いたことや疑問に思ったことを付箋に書いて貼っています。



さて、5月21日（木）と22日（金）、6年生は朝来小学校と合同で奈良・大阪方面へ修学旅行に行きました。雨の心配がありましたが行動にはほとんど影響のない天候で、多くの思い出を持ち帰ることができました。見学先は、奈良公園や大阪城のように自分の目で見たり、ガイドさんの説明を聞いたりして学ぶ場所と、キッザニア甲子園のように体験をして学ぶ場所があります。聞いているだけでなく、実際にやってみるという体験は、児童が成長するうえでとても重要なことです。職業体験の場であるキッザニア甲子園は100種類以上の仕事があり、多くの児童が楽しみにしていました。キッザニア甲子園での体験について、ある児童は「キッザニアでお母さんの仕事を体験して、とても大変だと分かった。」と振り返り、また別の児童は「ぼくは将来の夢はまだ決まっていないけど、将来の参考にすることができた。」と振り返っており、児童にとって貴重な体験になったことが分かります。当然のことなのですが、就職をする際は自分の知っている仕事の中から仕事を選択します。しかし、知っている仕事よりも知らない仕事の方がはるかに多く、この事実は職業選択の幅を狭めていると言えます。学校でも、仕事について考える機会を意図的に設定し、キャリア教育を充実させていきます。



また、5月26日（火）には、5・6年生が室牛地区にて宗本康兵さん、南野陽子さん他アーティストの方々や、室牛の皆さんと一緒に恒例の田植えをしました。裸足で田に入り、大人と子どもが息を合わせながら苗を植える体験は、児童にとって貴重な経験となりました。

さらに、学校行事ではありませんが、5月10日（日）に保護者の方が計画した「たんぼラグビーin 大浦」では、多くの方が来場されました。参加した本校の児童も泥だらけになりながらゴールを目指して楽しんでいました。これらは、一見学習に関連のないように見えますが、体験することにより児童は考えの幅を広げ、心を耕し、学習や生活に大いに役立つこととなります。バーチャルでは味わえない体験という学びはAIが発展しても大切にしていきたいものです。

校長 鎌野 高信 教職員一同

○本校教育活動の広報発信の一つとして、学校ホームページで学習の様子を公開しています。
右記のQRコードからも開くことができますのでぜひ御覧ください。

